

[事業所向け] 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名：【音の森 単位3】

実施日：2026/2/16

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|---|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか（基準は児童10人に対し職員3名） | ○ | | | |
| | ③ | 療育空間は本児にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障がい特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮がなされているか。 | ○ | | | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | |
| | ⑤ | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 第三者による外部評価の導入を検討するとともに、評価結果を職員間で共有し、具体的な業務改善につなげていきたい。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | |
| 適切な 支援の 提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | |
| | ⑫ | 活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか | ○ | | | |
| | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか | ○ | | | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援をおこなっているか | ○ | | | |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|---|--|-------------------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | |
| | ㉑ | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | ○ | | 学校や関係機関との情報共有を定期化し、連携体制を強化する。 | |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、 保護者のニーズがあった場合 、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | 該当 <input checked="" type="radio"/> 非該当 <input type="radio"/> |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 就学前に利用していた関係機関との情報共有をより体系的に行うため、引き継ぎ時の情報収集項目を標準化するとともに、必要に応じて関係機関との連絡・情報交換の機会を設け、支援の一貫性と相互理解の向上を図る。 |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 保護者の要望があった場合、これまでの支援内容や本人の特性を整理した引き継ぎ資料を作成し、関係機関への情報提供と連携の強化を図る。 |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会を求められている場合、対応できているか | ○ | | | オトフェス等の地域交流イベントを継続的に実施し、地域との関係構築を進めていきたい。 |
| | ㉗ | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| | ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | |
| | ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか | ○ | | | 保護者会(茶話会)等で簡単な研修会を実施しました。保護者向け支援プログラムを体系化し、ニーズに応じた内容へ改善を図っていききたい。 |
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | |
| | ㉑ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | |
| | ㉒ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | | 茶話会の内容や実施方法を工夫し、保護者同士の交流を促進を図っていききたい。(年2回開催) |
| | ㉓ | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | |
| | ㉔ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | |
| | ㉕ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | ㉖ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか | ○ | | | |
| 非常時等の対応 | ㉗ | 事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | | オトフェス等の地域交流イベントを継続的に実施し、地域との関係構築を進めていきたい。 |
| | ㉘ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | |
| | ㉙ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | |
| | ㉚ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか | ○ | | | |
| | ㉛ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | |
| | ㉜ | 食物アレルギーのある子どもについて、 保護者の要望に応じて 医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | ㉝ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | |

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：2026/3/31

事業所名：放課後等デイサービス 音の森 単位3

対象人数(保護者) 35人 回答者数 26人 回収 74.3%

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|--------|----|-----------|-----|-------|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 25 | | | 1 | | 療育指導室66㎡を有しており、お子様が安全かつ十分に活動できるスペースを確保するとともに、活動内容や特性に応じた環境づくりに努めております。 |
| | 2 | 24 | | | 2 | | 当事業所では、国が定める配置基準（児童10名に対し職員2名以上）を遵守するとともに、加配職員を含めた体制を整えております。 |
| | 3 | 24 | | | 2 | | 活動内容ごとにスペースを明確に分け、視覚的に分かりやすい表示や掲示物を活用することで、「今何をする場所か」「次に何をするのか」が理解しやすい環境づくりを行っています。 |
| | 4 | 25 | | | 1 | | 空気清浄機等を設置し衛生管理に配慮するとともに、日々の清掃や環境整備を行い、子どもが心地よく過ごせる空間づくりと活動に応じた環境調整に努めております。 |
| 適切な支援の提供 | 5 | 26 | | | | | |
| | 6 | 26 | | | | | |
| | 7 | 26 | | | | | |
| | 8 | 26 | | | | | |
| | 9 | 25 | 1 | | | | 支援計画に基づいた支援を実施するとともに、計画内容についてより分かりやすい説明を行い、ご不明な点には随時対応することで、保護者の理解促進と安心につなげております。。 |
| | 10 | 25 | | | 1 | | 一定のルーティンにより見通しを持てる環境を大切にしながら、子どもの発達段階や特性に応じて活動内容や関わり方を調整し、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域にアプローチした柔軟な音楽療育プログラムの提供につなげております。 |
| | 11 | 13 | 4 | 3 | 5 | | オトフェス等の地域交流イベントを継続的に実施し、地域との関係構築を進めていきたい。 |
| 保護者への説明等 | 12 | 26 | | | | | |
| | 13 | 26 | | | | | |
| | 14 | 26 | | | | | |
| | 15 | 25 | 1 | | | | |
| | 16 | 25 | | | 1 | | 計画更新時に面談の機会を設けておりますが、十分な支援につなげていない点を踏まえ、今後は面談時間の確保や実施頻度の見直しを行うとともに、随時相談できる体制の強化を図り、より充実した保護者支援につなげてまいります。 |
| | 17 | 25 | 1 | | | | 今後は、より一層、お子様や保護者の気持ちに寄り添った支援を意識し、支援の質の向上につなげてまいります。 |
| | 18 | 26 | | | | | |
| | 19 | 24 | 1 | | 1 | | ご意見やご相談を受け付ける体制は整えておりますが、十分な周知や対応に至っていない点を踏まえ、今後は相談窓口や対応方法の周知を強化するとともに、迅速かつ丁寧な対応ができる体制の充実につなげてまいります。 |
| | 20 | 25 | 1 | | | | 今後は分かりやすい伝達方法や丁寧な説明を意識し、円滑なコミュニケーションの向上につなげてまいります。 |
| | 21 | 26 | | | | | |
| | 22 | 22 | | | 4 | | 個人情報の取扱いについては、ご家庭の同意のもと必要最小限の範囲で使用するとともに、適切な管理を徹底し、今後も安全な情報管理に努めております。 |
| 非常時等の対応 | 23 | 23 | 2 | | 1 | | 感染予防・災害・事故・防犯等の各種マニュアルに基づき定期的な訓練を実施するとともに、オトモリ通信やHUGを活用して保護者への周知・説明を行い、安全意識の向上と理解促進を図り、安心して利用できる環境づくりにつなげてまいります。 |
| | 24 | 24 | | | 2 | | |

| | | | | | | | |
|-----|----|--|----|---|--|--|--|
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 26 | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 25 | 1 | | | 事故防止マニュアルを策定し、万が一事故や怪我が発生した場合には迅速な処置と連絡を行うとともに、状況について丁寧に説明し、安心していただける対応に努めております。 |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 26 | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 24 | 2 | | | 今後より良い療育を提供するとともに、お子様が楽しみながら通所できる環境づくりに努めてまいります。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 26 | | | | |